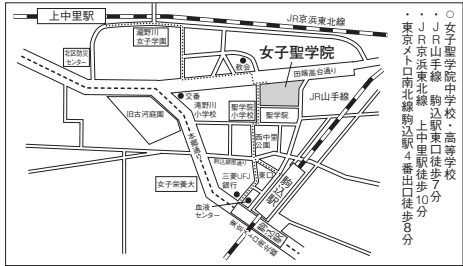


女子聖学院中学校 高等学校

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 ☎03-3917-5377(広報室) 学校長 安藤 守



緑豊かな中庭

(URL) <https://www.joshiseigakuin.ed.jp/>

沿革 女子聖学院は1905年に米国プロテスタント教会の女性宣教師によって創立されたミッションスクール。2024年度は119周年を迎えます。2022年4月に第11代校長 安藤守が就任しました。

キリスト教教育

スクールモットー「神を仰ぎ人に仕う」

自分と向き合い神様から与えられた「賜物」を養い、磨き上げる。それを自分以外の誰かに届けることを通して、外に広がる社会・世界に働きかける。その際に必要となる、しなやかで柔らかく、豊かな「ことば」を日々心に蓄えていく。教育目標「Be a Messenger～語ることばをもつ人を育てます～」は、そのような人を育てたいという思いから生まれ、この思いを大切に日々の教育に取り組んでいます。

●キリスト教教育

女子聖の一日は礼拝から始まります。毎日の礼拝は、神様から自分が愛されていることを知るひとときです。自分に与えられた賜物を見つけ、じっくりと磨き、人々と共に生きる中で用いていく。良い影響を与え喜びを届けることで、自分も喜びが与えられて、豊かな人生を送ることができる。女子聖学院が伝えたい人生の考え方です。女子聖での生活はそんな自分を探求していく6年間です。

カリキュラムの特色

●～じぶんを、育む「Global Arts教育」～

課題に対する創造的な解決策を探究する、そのための教養と技術を養う教育です。主体的に学ぶ

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください

こと、学び続ける力が求められる今、グローバル・アート教育で自分の「好き」と出会えます。

「未来をつくる学び 総合探求マイ・コンパスプロジェクト」は、一人ひとりが自分の軸を持ち、自ら学び、発信する力を育てています。この活動を通して、将来に役立つ自己管理能力や問題解決力を身につけることを目指しています。例えば、自分の学習方法の探究や、興味があるテーマについて調べて発表します。これによって、自分で考え、自分の意見を他の人に伝える力を養います。さまざまな経験を通じて、失敗しながらも成長できる場を提供します。

「男女合同で取り組む！ GX・SX/DXユニット」隣接する聖学院中高との共同PBL型の学びです。将来の仕事や生活で必要となる他者と協力する精神、創造性のスキルを育むことが目的。放課後に集まり、課題に取り組みます。例えば、SDGs(持続可能な開発目標)を目指して環境問題について考えたり、プログラミングや3Dプリンターを使ったものづくりなどを実施。最新の技術や研究に触れながら、社会に貢献できる力を身につけます。

●～自分を生かす「Experiential Learning」～

シェアード・リーダーシップのもと、体験を積み重ねていく学びです。自分とは違う賜物を持つ他者と共に、「いっしょに過ごす、交わる、取り組む、作り上げる」ことで、自分を理解し、自分の良さを生かし、共に生きる力を養います。例えば、運動会や合唱コンクール、記念祭などで、それぞれが自分の得意なことを生かし、他の人と協力して取り組みます。リーダーとして必要な柔軟な思考力や他者との協力を学ぶことは、人生において不可欠な要素だと考えています。

3学期制 週6日制 登校時刻 8:20 昼食 弁当持参、食堂、売店

英語教育の新しい形～使える英語～

英語を通して理解し合える豊かな心を育てる国際理解教育を実践。5人のネイティブ教員がおり、習熟度別授業で力を伸ばし、日常的にも英語に触れます。体験型のGlobal 3days Program(中1～中3必修)で国際理解を深め、発信力を身につけます。

進路指導

自分に与えられた使命を果たすべく人生設計をしていく6年間です。自分が遭われるべき場所を探る「進路探究プログラム」とサーバントリーダーシップを発揮するために必要となる力を磨く「実力錬成プログラム」がそれを担います。また「JSGラーニングセンター」では18:20までチューターのサポートを受けながらの自学習ができます。

■進学状況 2024年3月卒業生(105人)の合格

データファイル

■2025年度入試日程

中学校 帰国生入試は11/27

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
1回 50	1/10～1/31	2/1	2/1	2/6 (公立中高一貫校受験者は2/10)
スカラ(2回) ※30	1/10～1/31	2/1午後	2/1	
3回 20	1/10～2/1	2/2午後	2/2	
4回 10	1/10～2/2	2/3	2/3	
5回 10	1/10～2/2	2/3午後	2/3	
6回 10	1/10～2/3	2/4午後	2/4	
BaM・英語 各5	1/10～1/31	2/2	2/2	

※成績優秀者10人をスカラシップ合格。一般合格あり。4回も成績優秀者にスカラシップ合格が認められる場合がある

■高等学校 募集を行っていません

■2025年度選考方法・入試科目

中学校 1回・4回：2科か4科 スカラシップ(2回)・3・5・6回：2科 英語表現力：リスニング(英検3級程度)、英語課題文の暗誦、英語による自己紹介、算数基礎、面接(日本語)

BaM表現力：国語基礎、算数基礎、自己紹介、面接 帰国生：算数基礎、作文、面接、書類(配点・時間) 国・算＝各100点50分 理・社＝各100点30分 ※1・4回は4科のうち最高得点の科目を2倍 英語表現力・BaM表現力＝各240点 帰国は算数基礎＝80点50分、作文＝80点40分(面接) 英語表現力とBaM表現力は生徒個人と保護者同伴、帰国生は保護者同伴

■2024年春併設大学への進学

併設大学へ強く入学を希望する者は進学できます。

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

実績は、国立大が1人、早・慶・上智・ICU・三女子大が17人、GMARCHが18人。

学校行事・クラブ活動

入学式、創立記念、クリスマス、卒業式などは礼拝形式で行います。運動会、記念祭は中高合同です。運動会は高校生が中学生を指導して、3チーム対抗で競います。記念祭(文化祭)では、生徒による実行委員会が広報局、事務局、企画局に分かれて運営しています。宿泊行事は中1JLMキャンプ、中3沖縄旅行、高2修学旅行など。希望者のみの宿泊行事は、理科見学旅行、社会科旅行、3カ国6種類の海外研修プログラム、夏期ボランティアなど。このほか、校外学習として鎌倉見学、裁判所見学、歌舞伎鑑賞などがあります。

クラブは必修ではありませんが、活発です。

聖学院大学一進学者なし

■指定校推薦枠のある主な大学

青山学院大 立教大 法政大 学習院大 国際基督教大 明治学院大 東京女子大 津田塾大など

■2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
105人	92人	0人	5人	0人	1人	7人

■2024年度入試結果

中学校 1回・4回は2科/4科

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
1回 50	23/27	21/20	13/4	1.6/5.0
スカラ(2回) 30	82	73	28	2.6
3回 20	85	51	25	2.0
4回 10	43/51	27/24	18/5	1.5/4.8
5回 10	89	46	24	1.9
6回 10	97	29	18	1.6
英語表現力 10	3	3	1	3.0
BaM表現力 10	4	4	4	1.0

学校説明会 要予約 *はAM・PM開催 説明会 9/14* 11/16 表現力入試対応ワークショップ+表現力入試説明会 9/28 11/30 入試問題対策会 10/5 10/12 10/19 11/16 入試体験会 12/7 入試直前講座 1/11 1/18 個別相談会 1/18

見学できる行事 要予約 記念祭(文化祭) 11/2・11/4 個別相談あり